

2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月13日

上場会社名 株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス

上場取引所 東

コード番号 2927 URL https://www.ams-life.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 浅山 雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役会長室長 (氏名) 南方 茂穂 TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2023年1月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	5,686	4.1	221	32.6	236	△25.3	160	2.8
2022年8月期第1四半期	5,461	-	167	-	316	-	156	-

(注1) 連結子会社の株式会社さいか屋におきまして、お歳暮などを始め今四半期中に受注が確定したものの12月度の計上となる売上高が193百万円、営業利益、経常利益ともに46百万円あります。

(注2) 包括利益 2023年8月期第1四半期 145百万円(19.5%) 2022年8月期第1四半期 121百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	11.44	11.43
2022年8月期第1四半期	11.04	10.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	38,130	12,380	32.5
2022年8月期	37,348	12,445	33.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 12,373百万円 2022年8月期 12,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	15.00	-	15.00	30.00
2023年8月期	-				
2023年8月期(予想)		12.50	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,187	8.9	681	51.1	662	3.0	365	18.8	26.00
通期	24,741	7.6	1,481	46.5	1,435	6.9	800	8.8	56.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③会計上の見積りの変更 : 無
- ④修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期1Q	14,387,699株	2022年8月期	14,387,699株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	317,094株	2022年8月期	352,594株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期1Q	14,038,308株	2022年8月期1Q	14,149,432株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、新業態への進出による経営の多角化と自社グループ内に様々な業態を持つことにより、自社グループ内で全てを完結する複合企業体を目指しております。本年4月開校予定の日本語学校に合わせ、旅行業、観光事業を本年2月よりスタートさせ、また、ベトナム国の給食事業企業を本年2月予定にて連結子会社化いたします。

業績につきましては、好調を維持した医薬品事業が増収増益となったことに加え、コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食事業や百貨店事業が増収となり、連結売上高は5,686百万円（前年同期比104.1%）となりました。損益面につきましては、増収効果により売上総利益が増加したほか、経費の削減に取り組んだことにより、営業利益は221百万円（前年同期比132.6%）となりました。一方経常利益については、助成金収入の減少が影響して236百万円（前年同期比74.7%）となったものの、法人税等の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益は160百万円（前年同期比102.8%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

長引くコロナ禍で消費者の健康意識の高まりが定着した感があり、通販業の顧客、店舗販売業の顧客ともに、受注が安定しております。その中で機能性を表示できるダイエット関連製品の受注が堅調に推移いたしました。また、長引く行動制限により弱った足腰をケアする関節ケア製品の受注が好調に推移いたしました。

生産面においては、2022年10月に千葉工場の改修工事が完了いたしました。イスラム圏での売上拡大を図るため、同工場のハラル認証取得に向け取り組んでまいります。

・自社製品販売部門

店舗販売は、不採算店の閉店による減収があったものの、来客数の増加や催事・相談会等の実施数増加による増収など回復基調で推移いたしました。海外販売は、美容商材のほか、アンチエイジング製品が流行により売上に寄与いたしました。通信販売は、販売促進活動を強化している機能性表示食品が堅調に推移いたしました。機能性表示食品のラインアップ拡充を図っております。

ヘルスケア事業の業績は、売上高3,566百万円（前年同期比90.2%）、営業利益469百万円（前年同期比85.3%）となりました。

(医薬品事業)

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医薬品事業の好調を牽引している一般用医薬品のOEM受注が増加したほか、医療用医薬品については、重点販売製品として位置付けている自社製造、医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）、生活習慣改善薬のジェネリック医薬品『シルデナフィル錠』『フィナステリド錠』『タダラフィル錠』が順調に売上を伸ばした影響が加わり、利益面において安定的に黒字が出せる体制となりました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が525百万円（前年同期比125.0%）、営業利益46百万円（前年同期比133.5%）となりました。

(百貨店事業)

9・10月に開催した「創業150年記念感謝還元祭」が売上高増に寄与いたしました。創業150周年記念特別企画として、10月に「山本譲二プレミアムランチ&ディナーショー」を鎌倉プリンスホテルで開催し、多くのお客様にご好評をいただきました。さらに、横須賀店にて「テディベアと仲間たち展(10月)」、藤沢店にて「香川の物産展(11月)」を初開催いたしました。また、健康食品の通販広告を神奈川新聞に掲載する等、グループのシナジー効果を活用した取り組みを実施いたしました。

以上の結果、百貨店事業の業績は、売上高が1,191百万円(前年同期比124.8%)、営業損失85百万円(前年同期と比べ32百万円の営業利益の改善)となりました。(なお、お歳暮などを始め今四半期中に受注が確定したものの商品到着日ベースで12月度の計上となる売上高が193百万円、営業利益、経常利益ともに46百万円あります。)

(飲食事業)

第7波、第8波の影響はあるものの個人客を中心に緩やかに来客数が増加いたしました。特に、個人客需要を対象とした店舗である「十千花前(じっせんかぜん)静岡店」「魚弥長久(うおやながひさ)」及び、ランチ需要強化のため大幅にメニューチェンジした「草薙茄兵衛」が比較的好調に推移いたしました。また、ケータリングの「なすび庵」が安定的に推移いたしました。

飲食事業の業績は決算期変更の影響も加わり、売上高が376百万円(前年同期比304.0%)、営業損失81百万円(前年同期に比べ57百万円の営業利益の改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ870百万円増加し、17,996百万円となりました。この増加要因は主として、商品及び製品が500百万円、現金及び預金が158百万円、流動資産のその他が134百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ89百万円減少し、20,134百万円となりました。この減少要因は主として、有形固定資産の減価償却やのれんの償却等により、有形固定資産が67百万円、無形固定資産が48百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ887百万円増加し、14,105百万円となりました。この増加要因は主として、支払手形及び買掛金が137百万円減少した反面、短期借入金が963百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、11,644百万円となりました。この減少要因は主として、返済等により長期借入金が48百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、12,380百万円となりました。この減少要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当により利益剰余金が49百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月14日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,377,778	10,535,989
受取手形及び売掛金	2,578,619	2,643,782
商品及び製品	1,529,950	2,030,580
仕掛品	834,751	852,049
原材料及び貯蔵品	1,363,303	1,358,627
その他	456,670	590,672
貸倒引当金	△15,816	△15,697
流動資産合計	17,125,257	17,996,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,251,945	5,265,901
土地	9,604,660	9,604,707
その他(純額)	1,066,211	984,253
有形固定資産合計	15,922,817	15,854,862
無形固定資産		
のれん	1,338,673	1,300,425
その他	118,076	108,240
無形固定資産合計	1,456,749	1,408,666
投資その他の資産		
その他	2,901,625	2,929,010
貸倒引当金	△57,789	△58,182
投資その他の資産合計	2,843,836	2,870,828
固定資産合計	20,223,403	20,134,357
資産合計	37,348,660	38,130,361
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,414,316	3,277,214
短期借入金	6,998,833	7,962,735
未払法人税等	175,292	143,156
賞与引当金	152,512	177,731
契約負債	1,331,472	1,348,222
その他	1,146,322	1,196,788
流動負債合計	13,218,748	14,105,848
固定負債		
長期借入金	10,136,122	10,087,848
役員退職慰労引当金	230,435	239,253
退職給付に係る負債	770,959	775,702
その他	547,245	541,596
固定負債合計	11,684,762	11,644,400
負債合計	24,903,511	25,750,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,640,231	2,632,783
利益剰余金	7,880,483	7,830,590
自己株式	△305,391	△274,643
株主資本合計	12,347,163	12,320,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△808	△10,274
為替換算調整勘定	25,907	22,251
退職給付に係る調整累計額	42,259	41,110
その他の包括利益累計額合計	67,358	53,087
新株予約権	24,568	996
非支配株主持分	6,058	5,458
純資産合計	12,445,149	12,380,112
負債純資産合計	37,348,660	38,130,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)
売上高	5,461,423	5,686,422
売上原価	3,401,764	3,464,457
売上総利益	2,059,658	2,221,965
販売費及び一般管理費	1,892,429	2,000,158
営業利益	167,228	221,807
営業外収益		
受取利息	923	1,056
受取配当金	2,097	2,139
投資有価証券売却益	1,305	6,246
助成金収入	159,566	9,949
その他	11,546	10,520
営業外収益合計	175,439	29,913
営業外費用		
支払利息	16,763	14,073
投資有価証券売却損	5,113	46
その他	4,239	1,121
営業外費用合計	26,116	15,242
経常利益	316,551	236,477
特別利益		
固定資産売却益	176	207
債務免除益	—	46,838
特別利益合計	176	47,045
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	823	15,986
役員退職慰労金	8,346	—
店舗閉鎖損失	—	28,277
その他	6,415	—
特別損失合計	15,584	44,272
税金等調整前四半期純利益	301,143	239,251
法人税、住民税及び事業税	142,546	119,557
法人税等調整額	2,552	△40,340
法人税等合計	145,098	79,217
四半期純利益	156,045	160,033
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△168	△600
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,213	160,634

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	156,045	160,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,655	△9,466
為替換算調整勘定	5,048	△3,656
退職給付に係る調整額	△466	△1,148
その他の包括利益合計	△34,073	△14,271
四半期包括利益	121,972	145,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,140	146,362
非支配株主に係る四半期包括利益	△168	△600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,955,931	420,363	954,291	123,704	7,132	5,461,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,955,931	420,363	954,291	123,704	7,132	5,461,423
セグメント利益又は損失(△)	550,864	35,011	△117,939	△139,793	1,210	329,353

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	329,353
全社費用(注)	△162,124
四半期連結損益計算書の営業利益	167,228

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,566,610	525,329	1,191,145	376,077	27,260	5,686,422
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,566,610	525,329	1,191,145	376,077	27,260	5,686,422
セグメント利益又は損失(△)	469,778	46,744	△85,507	△81,967	△3,537	345,510

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	345,510
全社費用(注)	△123,703
四半期連結損益計算書の営業利益	221,807

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。